


コ ン テ ン ツ	PMCC理事会ならびに総会を開催 第1回 PMS講習会 開催...274名参加 企業向けP2M特別講習会 松下電器で開催 第1回PMS資格試験...599名が受験 建設・化学業界向け P2M普及講演会 開催 GPMF 第12回大会に出席 P2M提携に向けシドニー大学訪問	vol1 2002.8	PMCCニュースレター
			特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター

PMCCニュースレター 発刊にあたり



平素はPM資格認定センター（PMCC）に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、2002年5月からのPMCCの活動を中心に、関連のニュースをまとめた

「PMCCニュースレター」を発行する運びとなりました。

このニュースレターは、会員企業及び団体、個人会員、ご支援を頂いている方々、さらにはPMS資格取得者の皆様への情報伝達の手段として、定期的に発行してまいり所存でございます。

情報内容は、

- ・ PMCCの活動報告
- ・ PMCCの活動方針
- ・ P2M普及啓蒙の話題
- ・ P2M広報関連記事紹介
- ・ P2M研究委員会委員や講師の紹介、活動
- ・ P2M Q&A
- ・ 会員の方々や一般の方々からのご意見

等を順次掲載していく予定でございます。

P2Mサークル誌として、皆様方にご愛読いただくと同時に、PMCCホームページ「会員広場」との連動も図ってまいりたいと考えております。会員各位の忌憚のないご意見またプロジェクトマネジメントに関連した話題をお寄せいただき、今後 内容を充実させていきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人

プロジェクトマネジメント資格認定センター

専務理事 飯倉 督夫

PMCC理事会ならびに総会を開催

PMCCは、4月5日に正式発足後初めての理事会ならびに総会を5月9日開催。設立発起人会において承認されていた平成14年度予算の変更等、下記議案につき審議され、承認を頂きました。

平成14年度 事業活動計画について

平成14年度 予算について

理事の選任について

PMCC組織について

現時点の会員数は、法人/団体が60社、個人25名ですが、多数の問合せ

もあり、さらに増加していくものと予想されます。理事会ならびに



総会終了後、ささやかながら設立披露と会員間交流を兼ね懇親会を開催しました。最初に当センター吉川会長より「リーダーは育てるものではなく作るもの」であるとの強力なメッセージが打ち出されました。さらに来賓として、経済産業省国際プラント推進室の後藤室長に祝辞



を頂戴し、その中でプロジェクトマネジメント資格認定制度の国内外への普及・定着に向けて力強いバックアップをして頂くこととなり

ました。

懇親会では、会員相互間で積極的な交流が図られ、本資格認定制度の内容、普及につき活発な意見交換が行われました。宴は大変和やかな雰囲気の中で終了いたしました。

第1回 PMS講習会 開催... 274名参加



8月4日(日)に実施される「第1回 プロジェクトマネジメント・スペシャリスト(PMS)資格試験」に向け、第1回PMS講習会が5月10日からスタート。講習会には事務局の予想を上回る274名が参加され、P2Mの社会的な広がりをあらためて再認識いたしました。参加者は、建設業やエンジニアリング業だけでなく、製造業・IT産業など幅広い業種にわたりました。

講師の先生方には、準備から長期にわたる講習会と大変なお苦勞をお掛けいたしました。6月29日に無事終了することができました。PMCCとしては、初めての講習会でさまざまな課題も残りましたが、P2Mの普及啓蒙に向けて新しい第1歩を踏み出すことができました。

企業向けP2M特別講習会 松下電器で開催

初めての企業向けP2M講習会が松下電器 システムソリューション事業本部の幹部候補生を対象に開催されました。



4月19日から5月11日までの毎週 金曜・土曜日 6日間コースで実施いたしました。参加者は21名で、4日間のP2M講義の後、2日間 演習を中心にプログラムをすすめました。演習では、「P2M研修に基づき、企業のトップとし

て新しい組織を考える」のテーマで、グループ別に討議・発表が行われ、参加者の活発な議論が展開されました。

松下電器では、7月27日～8月3日に大阪府門真市で4日間コースの第2回 特別講習会を実施。今後、自社の研修プログラムに、



P2M講習コースを定着させていく方向で検討を重ねています。

第1回 PMS資格試験... 599名が受験



第1回プロジェクトマネジメント・スペシャリスト(PMS)資格試験が、8月4日(日)工学院大学(西新宿校)で実施されました。受験者数は当初の予想を上回る599名にのぼりました。業種別には、ソフトエンジニアリング業がトップで、サービス業、建設業、専門エンジニアリング業、製造業、電気通信業、金融業等幅広い業種にわたりました。中には公認会計士資格取得者の受験もあり、P2Mの業種別活用範囲の広さが再認識されました。

合格発表は、9月6日(金)を予定。本人に通知すると同時にPMCCホームページに掲載します。

建設 化学業界向け P2M普及講演会 開催



P2M普及活動の一環として、建設・化学業界向け講演会を7月8日（月）御茶ノ水 全電通ホールにて開催いたしました。テーマは「新しいプロジェクトマネジメント P2Mのパラダイム - エネルギー開発と建設プロジェクトにおける展望 -」。建設業界、化学業界、金融業界等から400名以上の参加者があり、さまざまな質問も飛び出し、会場は熱気に包まれた雰囲気で行われました。

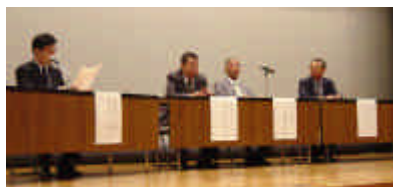
講演会プログラム

- ・日本発のプロジェクトマネジメント体系の意義
経済産業省国際プラント推進室長 後藤芳一氏
- ・エネルギープロジェクトとP2M
東京大学名誉教授 吉田邦夫氏
- ・新しいプロジェクトマネジメントと建設業
東京大学教授 國島正彦氏
- ・新しいプロジェクトマネジメントパラダイム
千葉工業大学教授 小原重信氏
- ・Question & Answer Session

講演会終了後に

- ・従来の企業的視点から国際的に考えるべきことの重要性を認識した
- ・プロジェクト創生の必要性、サービスへの位置づけ等 内容の濃い話が聞けた
- ・今後P2M導入の具体的事例を聞きたい
- ・自分で資格を取得して、P2Mの概念を金融界に広めていきたい

等、多数の感想・ご意見を頂きました。



GPMF 第12回大会に出席

6月7日、GPMF第12回大会がベルリン、エステルコンベンションで、30カ国50名弱の参加を得て開催されました。日本からは、経済産業省国際プラント推進室長 後藤芳一氏とPMCC石倉事務局長の2名が参加しました。GPMFのミッションは、世界のプロジェクトマネジメント（PM）協会を通じて、PMプロフェッションをますます高めていこうというものです。



この大会では、前回の東京大会以降のPM界のトピックスや動向がいろいろな角度から分析、報告されましたが、前大会に日本から発信されたP2Mがここ1年の大きな収穫・成果として捕らえられていました。G.Caupin会長の挨拶の中でも、“P2MはこれまでのPM規格・標準では取り扱っていないプログラムマネジメントを枠組みとして取り入れ、複雑・複合問題に解決の道を開き、企業に価値を創出できるのが特色である”と取り上げられました。また、A.Jain氏のアジア・パシフィック地区報告の中でも“早くP2Mの英訳版を発表せよ”との要望が出されました。

P2M提携に向けシドニー大学訪問

6月17日から21日にかけて、千葉工業大学教授 小原重信氏とP2M交流プラットフォーム委員長 武富為嗣氏が提携の打合せにシドニー大学を訪問。まる4日間毎日9時間にわたり、PMおよびシドニー大学の教育との関係を討議して理解を深めました。“P2Mは極めて進歩的で深みのある包括的な教育材料である”（ジャファリ教授）との評価を頂きましたが、提携については今後も討議を継続した上で決めることになりました。

関西地区で初の「PMセミナー」を開催

P2Mの普及・啓蒙活動と関西地区でのPMS講習会、PMS資格試験の準備活動の一環として、関西地区で初めてセミナーを開催いたします。本セミナーは、PHP研究所とPMCC共同主催により「PHP経営革新セミナー」として実施されます。

- ・日程 平成14年9月9日(月) 13:00~17:00
- ・会場 「大阪府商工会館」 大阪市中央区南本町4-3-6
- ・内容

～新しいPM - 「P2M」の展開について～

- ・日本発のプロジェクトマネジメント体系の意義
経済産業省国際プラント推進室長 後藤芳一氏
- ・日本産業界変革のカギ・P2M
千葉工業大学教授 小原重信氏
- ・P2Mを活用したプロジェクトマネジメントの導入
プラネット(株)取締役副社長 津曲公二氏
- ・PM資格認定制度および関西での展開について
PMCC 石倉事務局長

PMCC広場

～P2M普及講演会出席者よりEメール～

今回P2Mの内容も知らないまま「新しいプロジェクトマネジメント - P2Mのパラダイム」に参加させていただきました。私的な話で恐縮ですが、あるプロジェクトのFSの見直しをしておりました。当初は弊社に関わるEPCの箇所のみ着目して作業をしていたのですが、その際、EPCの上流および下流への影響も含めてプロジェクト全体のキャッシュフローの検討をしないことには、FSの見直しにならないことを痛感しました。そんな折、P2Mのセミナーに参加して「この知見があったらもっと早く、かつ的確な解答を出せるのではないかと」希望がわきました。さらにこの知識を活用できれば、昨今我が社を取り巻いていた閉塞感を払拭できるのではと希望が湧いております。今後は発行されている書籍を購入し、知見を深めたいと考えております。

講演会の開催、有難うございました。
当会員エンジニアリング会社 社員より

早稲田大学でP2M研究会がスタート

7月29日(月)早稲田大学・4号館・304研究室でP2M研究会が発足しました。これは、早稲田大学の木下教授(大学院・商学部)と並木教務部学外連携推進室長が中心となり、新しいプロジェクトマネジメント(P2M)をさらに研究して、もっと幅広い角度から提言を作りだそうとの発想から始めたものです。

P2M関連記事

「特集：バリュー経営」Quality Management 6月号



日本工業新聞(6月28日)



関西地区「PMセミナー」広告(日経新聞7月20日)



PMCC
News Letter
vol1
2002年8月発行

編集・発行 / 特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目4番6号 CYDビル2F
TEL : 03-3502-4405 (代表) FAX : 03-3539-1741